

演題 『操船事故例とヒヤリハット』

『第56回月例会』

■講演概要

株式会社川崎造船所は、1896年（明治29年）に神戸市に創設され、1897年（明治30年）に一番船である伊豫丸が進水して以来、川崎重工業株式会社に社名が変更されたものの、一世紀超にわたり潜水艦や巡視船などの官庁船をはじめ、LNG船、LPG運搬船やタンカー、コンテナ船といった我が国の安全や経済、物流を支える多くの新造船を送り出すとともに、船舶修繕でも優れた実績を上げてきました。

講師であります 八木 武人（やぎ たけひと）氏は、地元神戸の御出身で、鳥羽商船高等専門学校を御卒業後、日本汽船株式会社に入社され、一等航海士まで勤務された後の1992年（平成4年）、川崎重工業株式会社に入社されました。

その後、2011年（平成23年）に神戸造船工場の船渠長となられ、神戸はもとより、坂出工場においても船渠長を務められるとともに、一般財団法人日本船渠長協会の評議員（西日本支部長）としても御活躍されております。

今回の御講演は、同社神戸造船工場で新造され、試運転をし、または、修繕のための船舶を出入港させる際等の、現場でしか経験することができない事故事例やヒヤリハットなどをお話しいただき、船舶を安全に運航させるにはどのようにすべきかなどについて、分かり易く御講演いただくこととなっております。

講 師 川崎重工業株式会社 船舶海洋カンパニー
神戸造船工場
船渠長 八 木 武 人 氏

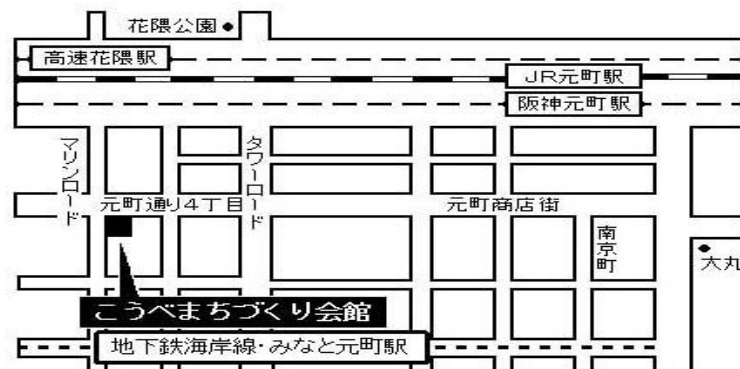
■開催日時

平成30年5月25日（金）15:00～16:30頃まで

■開催場所

神戸市立 こうべまちづくり会館 2階

神戸市中央区元町通4-2-14 電話 078(361)4523



■主 催 公益社団法人 神戸海難防止研究会（担当：江頭・藤原）

電話 078(332)2035

入場無料 御自由にお入りください！（定員60名）